

登録コード	F3A50910	開講年度	2026				
授業科目	先進繊維・感性工学概論					担当教員	田中 稔久 他
英文授業名	Introduction to Advanced Textile and Kansei Engineering					副担当	金井 博幸・KIM KYOUNGOK・児山 祥平
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生	先進繊維・感性工学科1年
講義室	共通教育4 2 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Fカリ・先進感性、2 6 Fカリ・先進感性・先進繊維・2、2 6 Fカリ・先進感性・感性工学・2、2 5 Fカリ・先進感性・先進繊維・2、2 5 Fカリ・先進感性・感性工学・2、2 4 Fカリ・先進感性・2 4 Fカリ・先進感性・先進繊維・2、2 4 Fカリ・先進感性・感性工学・2、2 3 Fカリ・先進感性・2 3 Fカリ・先進感性・先進繊維・2、2 3 Fカリ・先進感性・感性工学・2						
	【2023年度以降加付対象】繊維・感性工学に関する知識を基に、モノ作りを実施できる能力					「先進繊維工学」、「感性工学」の概念と要素技術を知り、高年次の専門科目に向けた基盤を形成することができる。	
	2 6 Fカリ・先進感性・感性工学・2、2 5 Fカリ・先進感性・感性工学・2、2 4 Fカリ・先進感性・感性工学・2、2 3 Fカリ・先進感性・感性工学・2						
	【2023年度以降加付対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力					社会、生活、産業において利用される繊維関連製品群の製造プロセスを理解し、製品に対する要求性能を正しく計測・評価する方法を知ることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	先進繊維・感性工学科の教員がオムニバス形式で「先進繊維工学」、「感性工学」の要素技術について講義する。 また、実践的なテーマを掲げ、主体的な学びを促し、発表スキル、技術的なコミュニケーションスキルの向上を目的としたプレゼンゼミも行う。						
(5)授業計画	この講義は、毎回の出席を基本とする。 1回目：ファッション工学とは[金屋] 2回目：繊維とテキスタイル[朱] 3回目：繊維と評価[児山] 4回目：繊維と衣環境[丸] 5回目：感性と視覚情報[水科] 6回目：感性工学と温熱環境工学[佐古井] 7回目：繊維製品の感覚計測と評価[金井] 8回目：繊維の産業利用[富澤] 9回目：繊維の構造と物性[宝田] 10回目：繊維強化複合材料[奥村] 11回目：予備日 12回目：予備日 13回目：プレゼンゼミ最終発表 [学務委員] 14回目：プレゼンゼミ最終発表 [学務委員] 15回目：プレゼンゼミ最終発表、授業アンケート[学務委員] * 各回の授業で、課題や小テストを課す場合がある * 講義の順番や講義形式が変更になる可能性がある						
(6)成績評価の方法	オムニバス講義は、毎回の講義で課す課題や小テストに基づき、各回10点満点で点数化する。 プレゼンゼミは、成果発表を20点満点で点数化する。 以上の得点を総合して成績を判定する。						
(7)成績評価の基準	()オムニバス講義において解説された専門用語や方法を正しく理解し、これを用いて議論できる水準にあるとみなすことができれば「合格水準にある」とする。 ()プレゼンゼミにおいて、主体的に学習し、成果を分かりやすく発表し、他者の発言の意図を理解して論理的な応答ができれば「合格水準にある」とする 「卓越した水準にある」とは、両項目で感心できる学習効果があったと評価できること。 「かなり上の水準にある」とは、両項目で優れた学習効果があったと評価できること。 「やや上にある」とは、両項目で良い学習効果があったと評価できること。 「水準にある」とは、両項目で学習効果があったと評価できること。						
(8)事前事後学習の内容	この講義は、充実した学生生活と専門学習を行うための基盤をつくるための講義です。学習内容を定着できるよう復習時間を十分に確保する必要がある。十分な学習成果を得るためには、およそ90 時間の学習が必要です。このうち、およそ60 時間を復習などの時間外学習に当てることが必要です。						
(9)履修上の注意	前期の新入生ゼミナールの内容についてよく復習した上で授業に臨むこと。また、「繊維科学の基礎」などの書籍をよく学習しておくことが重要である。						
(10)質問、相談への対応	各授業終了後、およびメールにて対応する。						
(11)学生へのメッセージ	先進繊維・感性工学科の専門的な内容をわかりやすく口述します。各教員からの講義内容は、2年生以降に必要なものばかりですので、そのつもりで受講してください。						

(12)その他	
【教科書】	特になし
【参考書】	授業中の配布資料やプレゼン資料を参考にする